

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

桃核承気湯

(とうかくじょうきとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」に記載されている桃核承気湯に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる。)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと 他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けること



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 医師の治療を受けている人。 | (6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。 |
| (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 | (7) 次の症状のある人：むくみ |
| (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。 | (8) 次の診断を受けた人：高血圧、心臓病、腎臓病 |
| (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。 | |
| (5) 高齢者。 | |

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合は、服用を中止しこの文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1カ月位（便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
6. 本剤の服用により、予期しない出血があらわれた場合は、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

[効能・効果]

比較的肉体力があり、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症：
月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）

[用法・用量]

1包（1日量）につき水400mLを加えあまり強くない火にかけ200mLに煮つめ、紙袋とともに煎じがすを取り去り、食前1時間前又は食間空腹時に温服して下さい。

年 齢	1包(1日量)煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全 量	3～2回に分けて
15才未満		服用しないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

用法・用量を厳守すること。

[成分・分量] [本品1包（1日量）15.5g中]

日本薬局方 ト ウ ニ ン……………5.0g	別 規 格 硫 酸 ナ ト リ ウ ム……………2.0g
日本薬局方 ケ イ ヒ……………4.0g	日本薬局方 カ ン ソ ウ……………1.5g
日本薬局方 ダ イ オ ウ……………3.0g	

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管すること。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 煎じ薬は腐敗しやすいので、冷蔵所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



[問い合わせ先]

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
電 話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社
〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号